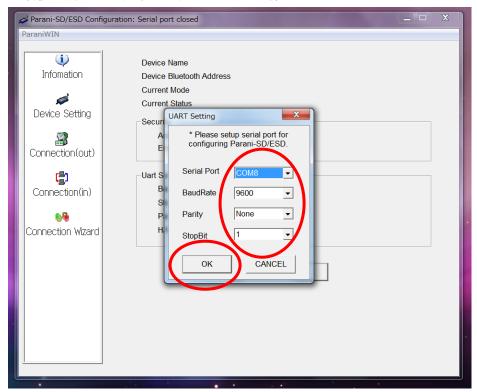
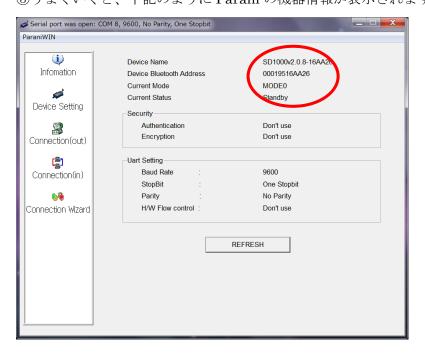
## Parani-SD シリーズと Bluetooth 内蔵 PC の接続方法

- ※この例では Windows7 PC 使用
- ①まず、Parani 本体、および相手方 PC の Bluetooth ペアリング情報は**リセット**しておきます。
- ②設定用のパソコンへ Parani を繋ぎ、マネージャーソフト ParaniWIN を起動します。 最初に出てくるウィンドウで Parani を繋いでいる COM ポートやボーレートを選択後して、OK。



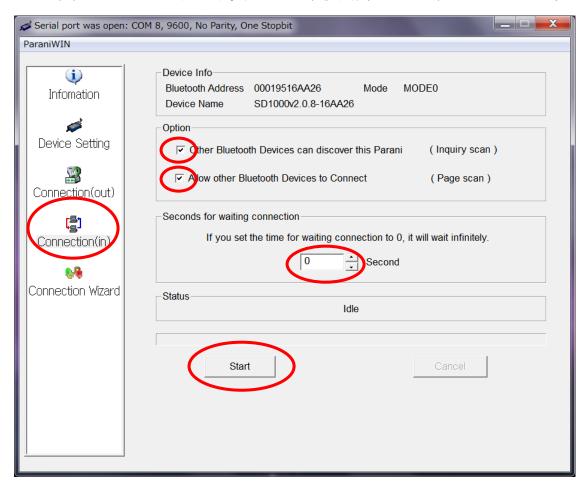
③うまくいくと、下記のように Parani の機器情報が表示されます。



④左側のメニューから、Connection(in)を選択します。

出てきた画面で、チェックボックスには両方チェックを入れ、秒数を入れるところには "0" を入力します。

その後、Start ボタンを押します。(Parani は接続待機状態となり、LED は MODE3 状態となります)



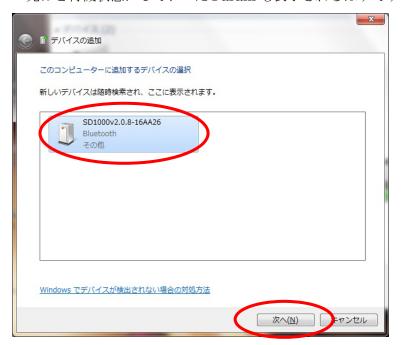
⑤Parani と通信させる PC にて、スタートボタンから「デバイスとプリンター」を開きます。



⑥出てきたウィンドウにて、「デバイスの追加」をクリックします。



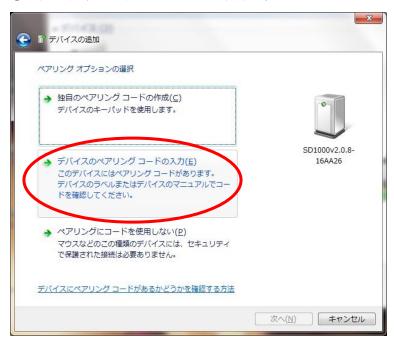
⑦ウィンドウが出てきて、周辺にある Bluetooth 機器などが検索されます。 先ほど待機状態にしておいた Parani も表示されるはずですので、それを選び、「次へ」。



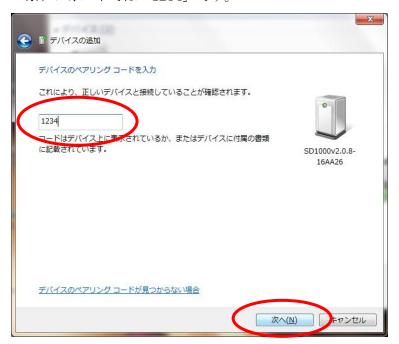
## ※Parani が表示されない場合は:

- ・パソコンの Bluetooth 機能自体がオフになっていなかを確認します。
- ・手順④がうまくできており Parani が待機状態になっているか確認します。
- ・専用の Bluetooth スタックソフトウェアである場合、検索の方法が異なる場合があります。

⑧下記のウィンドウが表示される場合は、「デバイスのペアリングコードの入力」を選びます。



⑨Parani に設定してあるペアリングコード (PIN) を入力し、「次へ」。※デフォルトでは「1234」です。



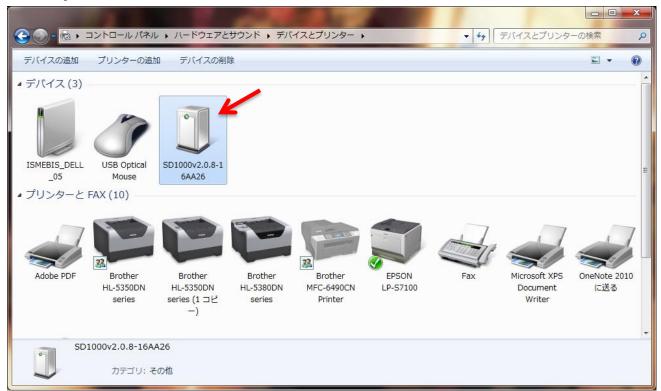
⑩下記のような表示になったら、「閉じる」をクリックします。

閉じたあと、大抵の場合 Windows が自動でドライバーをインストールし始めます。しばらくかかることがありますので、その場合は何もせずしばらく待機しておきます。



⑪うまくいくと、下記のような表示となります。

※ただし、この時点では単に PC に情報が登録されただけで、まだ Parani との接続自体はなされていません。

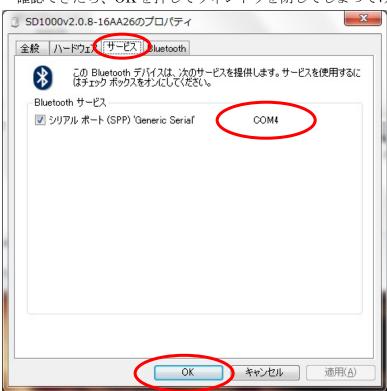


⑫追加された Parani のアイコンを右クリックし、「プロパティ」を確認してみましょう。

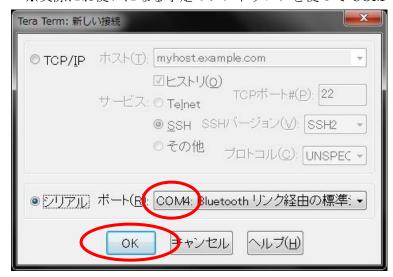


⑬出てきた画面で「サービス」のタブをクリックします。 この Bluetooth 接続に割り当てられた COM ポートの番号が確認できます。

確認できたら、OK を押してウィンドウを閉じてしまってけっこうです。



④この COM ポートを開き、実際に Parani への接続をさせます。この例では、TeraTerm というソフトを使って、COM ポートとのやり取りをさせてみます。※実際にお使いになる予定のソフトウェアを使って COM ポートをオープンさせてください。



⑤COM ポートをオープンさせました。

この時ようやく、Parani は接続状態になります(LED も Connect 状態を示す)。



⑯ソフトを終了するなどして COM ポートが閉じられると、Parani の接続も切断されます。 場合によっては、MODE0 に戻ってしまいます。

もし接続が切れた場合でも再度接続待機状態に戻るようにする(いつでも PC から接続できるようにしておく)ためには、再度設定用 PC に Parani を繋ぎ、ParaniWIN の「Device Setting」画面にて MODE2 へ変更後、Apply を押してください。常時接続を待機するようになります。

